

# ＜令和 4 年度 指導案集録＞



## < 目 次 >

### ○ 小学校第4学年算数科「小数のかけ算やわり算」・・・・・・・・・・1ページ

#### 小学校第4学年 算数科 (単元名) 小数のかけ算やわり算

(授業提案者 平岩小中学校 教諭 金子 悦子)

##### ● 単元の目標

小数と整数のかけ算やわり算について、整数の計算をもとにしてその計算のしかたを考えたり説明したりすることをおして、小数×整数、小数÷整数の計算や筆算ができるようにするとともに、生活や学習に活用しようとする態度を養う。(A(4)ア・イの目標)



Point

学びポケットを活用した学習の個性化 (個別最適な学び)

コース別の学習  
へ手立て

「予習コース」教科書を読み取ったり、友達と話し合ったりしながら解き方を考える。  
「一緒にコース」教科書を読みながら、先生のアドバイスをもらって、解き方を考える。  
「復習コース」小数の問題を復習して、本単元の基になる力をつける。

めあてを一斉で共有した後、自力解決の段階で3コースの中から自分の習得状況に応じたコースを選ばせる。教師は、「一緒にコース」を中心に指導していくが、適宜、励ましや進捗状況の確認等の声かけを行っていく。本時の展開後段では、「確認タイム」として一斉で学びの共有を図る。

「復習コース」を選んだ児童は、学びポケットの中にある「eboard (イーボード)」の問題に一生懸命取り組んでいました。学びポケットには、学習状況に合わせ、選択して取り組める問題が多数ありますので、是非、ご活用ください。(不明な点は、ICT支援員に問い合わせてください)



### ○ 小学校第6学年国語科「大切にしたい言葉」・・・・・・・・・・3ページ

#### 小学校第6学年 国語科 (単元名) 大切にしたい言葉

(授業提案者 大王谷学園初等部 教諭 甲斐 匠一郎)

##### ● 本時の目標

下書きを読みあって共同推敲し、より自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫したり改めたりすることができる。(B「書くこと」オ「推敲」の目標)

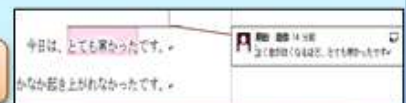


Point

Word (Teams 上) のコメント機能による共同推敲 (協動的な学び)

書き表し方を工夫したり、改めたりするために、グループ内で下書きを互いに推敲し、修正する箇所について、Wordのコメント機能に入力し、書き改める際に、常に確認できるようにした。

Teams を使って共同編集する機能については、前号でご紹介しましたが、Word のコメント機能を使うと、他者からの助言等をデータとして記録することができます。推敲する際の参考データを記録として蓄積できることもタブレットのよさの1つです。



Word のコメント機能



共同推敲の様子



○ 小学校第 6 学年家庭科「こんだてを工夫して」・・・・・・・・・・ 5 ページ

### 小学校第 6 学年 家庭科 (題材名) こんだてを工夫して

(授業提案者 財光寺小学校 教諭 田吹 季里)


- 本時の目標
 

1 食分の献立の構成する要素が分かり、1 食分の献立作成の方法について理解することができる。  
(B衣食住の生活「(2)調理の基礎」・「(3)栄養を考えた食事(ア)(イ)」の目標)


**Point** SKYMENU による絵の選択・操作 (個別最適な学び・協働的な学び)

献立作成のポイント等をもとに、SKYMENU の中で準備した料理イラストを見童が自由に操作し、友達と共有しながら、1 食分の献立を考えることで、献立を構成する要素や献立作成の方法を理解することができるようにする。


SKYMENU の中に、自由に動かせるイラスト等の教材を事前に準備しておくことで、児童生徒が考えを何度も再構成しながら整理することができます。また、友達との共有前後の自分の考えをデータとして保存することで、自分の考えの変容を可視化し、理解を深めることもできます。



**実際の板書**



**互いの献立に関する対話**



○ 中学校第 1 学年外国語科「Let's enjoy Japanese Culture.」・・ 7 ページ

### 中学校第 1 学年 外国語科 (単元名) Let's Enjoy Japanese Culture.

(授業提案者 日向中学校 教諭 小竹 さやか)


- 本時の目標
 

ダニエルと真央 (教材中の登場人物) の会話を聞いて、その内容を把握することができる。  
(「聞くこと」イの目標)


**Point** SKYMENU による絵や文の並べ替え (協働的な学び)

本文の聴き取りを行った後、本文の概要をつかむために、SKYMENU で絵や文を並べ替えさせる。生徒同士で相談する時間を設け、聞き取れた情報を共有し合いながら内容の理解につなげさせる。


「順序」を並べ替えさせることは、内容の概要を捉える上で、とても有効な思考方法です。ペアや 3 人組等で聞き取れた情報を共有しながら思考を深めていくと、協働的な学びにつながるのではないのでしょうか。



**文の並べ替え**



**絵の並べ替え**



○ 中学校第 1 学年保健体育科「運動やスポーツの多様性」・・・・・・・・・・ 9 ページ

中学校第 1 学年 保健体育科 (単元名) 体育理論「運動やスポーツの多様性」

(授業提案者 財光寺中学校 教諭 馴松 郁美)

● 本時の目標

運動やスポーツには、「する、見る、支える、知る」等の多様な関わり方があることについて話し  
書き出したりすることができる。(「体育理論」 3 ア の目標)



Teams による共同編集 (協働的な学び)

運動をしている具体的な画像をもとに、運動やスポーツの多様な  
関わり方に関する問いをもたせた上で、「する、見る、支える、知る」  
という 4 つの関わり方を視点に、グループで考えを共有させていく。

従来は、付箋紙を使って、KJ 法による分類などを行っていましたが、  
Teams 等の共同編集機能を使うと、自分のグループだけではなく他の  
グループの考えも見られるなど、多くの考え方に短時間で触れることが  
できます。共有の後には、自分の考えを再構成する姿が見られました。



四つの関わり方に  
分類したシート



グループ共同編集

○ 中学校第 2 学年総合的な学習の時間「よのなか挑戦」・・・・・・・・・・ 11 ページ

中学校第 2 学年 総合的な学習の時間 (単元名) よのなか挑戦

(授業提案者 大王谷学園中等部 教諭 鹿島 雄太)

● 本時の目標

社会体験学習の発表に向けて、リハーサルを行い、再度発表資料を練り直すことで、友達の  
良いところを取り入れ、より良い発表ができるようにする。



Teams を活用した共同編集・校正作業 (協働的な学び)

「友達の良いところを取り入れる」という視点をもたせて、互いのリ  
ハーサルを聞き合い、気付いたことを踏まえて、自分たちのグループの  
発表内容について、Teams を活用して再構成していく。

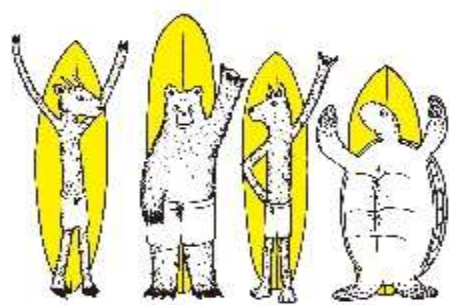
Teams の共同編集機能により、複数名が同時に同じデータを共有す  
ることができます。共同編集をする前には、今回のように「友達の良い  
ところを取り入れる」といった共通の目的をもたせて取り組ませることが  
重要です。



リハーサルの様子



共同編集の様子



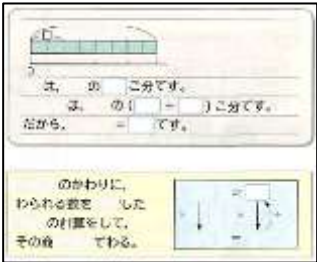
1 単元名 「小数のかけ算やわり算」

2 本時の目標

被除数が除数よりも小さい除法の計算の仕方について考えることができる。(思考力・判断力・表現力等)

コース別の学習 へ手立て	「予習コース」教科書を読み取ったり、友だちと話し合ったりしながら解き方を考える。
	「一緒にコース」教科書を読みながら先生のアドバイスもらって、解き方を考える。
	「復習コース」小数の問題を復習して、本単元の基になる力をつける。

3 学習指導過程 (7/16時間)

段階	主な学習内容及び学習活動	指導上の留意点	評価の視点	資料・準備
つかむ・見通す	<p>1 学習問題を読み、立式する。 <math>2 \div 4</math></p> <p>2 めあての確認をする。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <math>2 \div 4</math> の計算のしかたを考えよう。 </div> </p> <p>3 自分でコースを選ぶ。</p>	<p>○ めあての確認まで一斉指導を行うことで、本時の学習に対する目的意識を共有できるようにする。</p> <p>○ 問題を読んでから自分のコースを選ばせる。</p>		
調べる・確かめる・深める	<p>3 コース別に課題解決を図る。</p> <p>「予習コース」</p> <p>○ 教科書を読む→解く→友だちと答えを確認</p> <p>「一緒にコース」</p> <p>○ 教科書を読む→解く→先生に確認</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p>「復習コース」</p> <p>○ 動画解説(e-board)を視聴したり既習問題で復習したりする→問題を解く→先生に確認</p>	<div style="border: 1px solid blue; padding: 5px;"> <p>教科書の説明を丁寧に読み取る、問題解決の手段として教科書を参考に問題を解く。 (資料との対話)</p> <p>友だちとの答え合わせを通して、互いの解き方や考え方を交流することで考えを深め、新たな気づきを得ることができる。 (友だちとの対話)</p> </div> <p>○ 2を20個に分けた線分図に着目させることで、2が0.1の20個分であることに気づき、<math>2 \div 4</math>が0.1の(20÷4)になることを理解できるようにする。</p> <p>○ 友達と答えを確認し、違っていれば互いが納得する答えが出るまで話し合わせることで、協働的に課題を解決できるようにする。</p> <p>○ 復習コースについては、0.1がいくつとみてから整数の乗法を考えるよさを振り返る動画を視聴させることで、既習内容を本時の問題に生かすことができるようにする。</p>		児童用タブレット (復習コースのみ)

	4 「確認タイム」で学びの共有を図る。(一斉)	<p>○ 集中力が続かない子どもには、こまめに指導者が励まし等の声かけを行うことで、自分の学びの状況を確認できるようにする。</p> <p>○ ノートを実物投影機で写すことで、<math>2 \div 4</math>が0.1の(<math>20 \div 4</math>)であることを視覚的に説明できるようにする。</p>	<p>○ 既習事項や教科書の解き方を参考にして計算の仕方を説明している。 【ノート・観察】</p>	実物投影機
まとめる	5 本時のまとめをする。 (ま) $2 \div 4$ は10倍して計算し、答えを10でわればよい。	○ めあてを基に本時の学習を振り返らせることで、めあてと対応したまとめになるようにする。		
高める・広げる	6 練習問題を解く。 ○ P42 8 9	○ 予習コースは相互採点後提出させる。他のコースは担任が採点し、個別指導を行う。		

#### 予習コースの進め方

- 今日の問題を声に出して読む。
- めあてをノートに書く。
- 教科書のとき方を説明してみる。  
→教科書に書く。  
→友だちと説明し合う。
- 同じときかたで、次の練習問題。  
→ノートに書く。  
→友だちと説明し合う。
- 練習問題をノートにする。  
→友だちと答えの確認。
- めあての答えになる「まとめ」をノートに書く。
- もっと練習・計算ドリルをする。

#### いっしょにコースの進め方

- 今日の問題を声に出して読む。
- めあてをノートに書く。
- 教科書のとき方を説明してみる。  
→教科書に書く。  
→先生チェック
- 同じときかたで、次の練習問題。  
→プリントに書く。  
→先生チェック
- 練習問題をノートにする。  
→先生と答えの確認。
- めあての答えになる「まとめ」をノートに書く。

#### 復習コースのすすめ方

- 今日の問題を声に出して読む。
- めあてをノートに書く。
- 今日の問題に関係するものをパソコンで復習する。  

○年生の「                      」

○年生の「                      」
- 先生といっしょに教科書の問題のとき方を考える。
- 練習問題をノートにとく。
- 「まとめ」をノートに書く。

## 1 単元名 大切にしたい言葉

## 2 本時の目標

- 下書きを読みあって共同推敲し、より自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫したり改めたりすることができる。  
(思考力・判断力・表現力等)

## 3 児童の実態

- 本学級の児童は、明るく活発で、国語科の学習にも意欲的に取り組んでいる。一方で、文を書くことに苦手意識をもっている児童も多い。また、文書作成ソフト Word を活用して意欲的に文章を考えたり、コメント機能を使ったりすることができる。一方で、タイピング操作に苦手意識をもつ児童も一定数いる。

## 4 学習指導過程（本時5/6）

段階 (時間)	主な学習内容及び学習活動	指導上の留意点	評価の視点	資料・準備
つなげる・見通す	<p>1 前時の学習を想起し、本時の学習のめあてを確認する。</p> <p>㊦ よりよい書き表し方にするには、どうすればよいだろう。</p> <p>2 教科書 p178 の助言の仕方を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 読みにくいところや、わかりにくいところはないか</li> <li>・ 詳しく書くとよいところと、簡単に書くとよいところはないか</li> <li>・ 考えたことや感じたことにぴったりの言葉かどうか</li> </ul>	<p>○ 初出の学習用語「推敲」についての意味を確認することで、本時の学習の見通しをもつことができるようにする。</p> <p>○ 考えたことや感じたことにぴったりの言葉かどうかを考え合うことで、互いに使える言葉を増やしていくきっかけとなるようにする。</p>		
調べる・確かめる・深める	<p>3 グループ内で下書きを共同推敲する。</p> <p>【活動の流れ】</p> <p>① グループの友達の文章を推敲し、修正するところをコメント機能に入力したり付箋に書いたりする。</p> <p>② 次の文章の推敲を始める。</p> <p>4 助言をもとに、書き改める。</p> <p>㊦ よりよい書き表し方にするには、読みにくいところや詳しく書くとよいところなどを修正したり、感じたことにぴったりの言葉に書き改めたりするとよい。</p>	<p>○ 修正するところを Word のコメント機能、または、付箋を活用して記入することで書き改める際に常に確認できるようにする。</p> <p>○ 円滑に助言し合うことができるようにするために、タイピングやタブレット端末の操作に苦手意識がある児童には、「助言することが目的である」ことを伝えるとともに、付箋で記入させるようにする。</p> <p>○ よりよい言葉の表現に書き改めることができるようにするために、「言葉の宝物」を参考にするように伝える。</p>	<p>○ 下書きを読みあって共同推敲し、より自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫したり改めたりしている。</p> <p>【観察・ノート・Word データ】</p>	

まとめる	5 本時のふり返しをする。	○ 本時の学びを確かなものにするために、友達作品を推敲することで得た考えや、友達から推敲してもらったことで得た考えをふり返らせる。		
高める・広げる	6 次時の学習への見通しをもつ。	○ 完成した文章を読み合うことを伝え、次時への意欲を高める。		

## 指導者 田吹 季里

## 2 本時の目標

- 1食分の献立の構成する要素が分かり、1食分の献立作成の方法について理解することができる。(知識及び技能)

段階	学習内容及び学習活動	指導上の留意点	評価の視点	資料・準備
つかむ・見通す	<p>1 模擬バイキングをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 料理イラストから1食分の献立を考え、選んだ理由を発表する。 ペア→全体</li> <li>・好きなものばかり入れようかな。</li> <li>・何を組み合わせようかな。</li> </ul> <p>2 めあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">1食分の献立を立てよう。</div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ イラストの中から1食分の献立を自由に考えさせることで、本時の学習内容への動機付けを図る。</li> <li>○ 考えた献立と、選んだ理由を発表させることで、どのような献立があるか、考えを広げられるようにする。</li> <li>○ 様々な献立を比較させることで、好きなものを選ぶと栄養が偏り、バランスのとれた食事とは言えないことから組み合わせを意識して献立を立てることを確認できるようにする。</li> </ul>		テレビ 児童用タブレット (SKYMENU)
調べる⇄確かめる・深める	<p>3 給食の献立と比べ、気付いたことを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・給食は毎日ごはんかパンがある。</li> <li>・給食は野菜が中心のおかずがある。</li> <li>・自分たちは好きなものを選んでいたので、お肉のおかずが重なっていた。</li> </ul> <p>4 給食の献立を作る時に気をつけていることを知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・栄養のバランスをとるには主食とおかず、汁物を組み合わせている。</li> <li>・栄養のバランスだけでなく料理の組み合わせも考えているんだ。</li> <li>・使っている材料も、季節を考えて選んでいるんだ。</li> <li>・調理法の工夫もしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 給食の写真と献立表を提示し、自分たちが考えた献立と比べさせることで、栄養のバランス等の違いに気付くことができるようにする。</li> <li>○ 専門的な立場である栄養士の話を聞かせることで、料理の組み合わせや、献立を立てる時に気をつけていることを理解できるようにする。</li> </ul>		写真 主食がパン・ごはんのもの         栄養士さんの写真

	<p>5 献立の立て方を基に選んだ献立を修正する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>① 主食を決める ② 主菜を決める。 ③ 副菜を決める。 ④ 汁物や飲み物を決める</p> </div> <p>・ごはんに合うおかずはなんだろう。 ・おかずをから揚げにしたら、野菜を使ったおかずは何が合うだろう。</p>	<p>○ 教科書を基に主食・主菜・副菜・汁物の言葉をおさえることで、イラストの中でどれが主食、主菜、副菜、汁物にあたるか確認できるようにする。 ○ 主食を決めてから、おかずや汁物を決めることを伝えることで、献立を立てる時に気をつけることを意識できるようにする。</p>	<p>○ 1食分の献立の構成する要素が分かり、1食分の献立作成の方法について説明している。【ワークシート・発表】</p>	教科書 児童用タブレット (SKYMENU)
まとめる	<p>6 変更した献立と、直したポイントを発表する。 ペア→全体</p> <p>・野菜を使ったおかずがなかったので野菜サラダに変更した。 ・主食をごはんにしたので、ごはんに合う献立にした。</p>	<p>○ 変更して良くなった点を称賛することで、主食・主菜・副菜・汁物を意識した献立づくりができているという実感を味わうことができるようにする。</p>		
高める・広げる	<p>7 献立の立て方についてまとめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>献立は主食・おかず（主菜・副菜）・汁物を組み合わせて考えるとよい。</p> </div> <p>8 本時の振り返りをする。</p>	<p>○ 主食・主菜・副菜・汁物を意識して献立を立てられたかという視点で振り返らせることで、今後の実践意欲を高めることができるようにする。</p>		ワークシート

第1学年1組 外国語科学習指導案

指導者 小竹 さやか

1 単元 SUNSHINE ENGLISH COURSE1 PRPGRAM4 Let's Enjoy Japanese Culture.

2 本時の目標 ダニエルと真央の会話を聞いて、その内容を把握することができる。(思考力・判断力・表現力等)

3 学習指導過程(2/5)

段階	学習活動及び学習内容	指導上の留意点	評価の視点	資料・準備
つかむ・見通す	<p>1 英単語のタイピング練習をする。</p> <p>2 フォニックスの練習をする。</p> <p>3 既習事項の復習をする。 ○ Is this~? No it isn't. 等</p> <p>4 めあてを確認する。</p> <p>ダニエルと真央の会話を聞いて、その内容をつかもう。</p>	<p>○ ホームポジションを意識させながら英単語のタイピング練習をさせることで、英単語のスペルを習得できるようにする。</p> <p>○ フォニックスを練習させることで、英語の音声やルールを確認できるようにする。</p> <p>○ 既習の文法事項を確認し、スムーズな理解につなげるために復習させる。</p>		生徒用タブレット
調べる・確かめる・深める	<p>5 単語の確認をする。 ○ stick into inkstone rub work save</p> <p>6 本文の聞きとりをする。 ① 絵を並べ替える。 ② 文を聞こえた順に並べ替える。</p>	<p>○ 教師との単語練習の後も、各自で意味や発音練習、生徒同士の学び合いや教え合いができるように、Power PointをPDFファイルにして配付し、活用させる。</p> <p>○ 本文の概要をつかむために、SKYMENUで絵や文を並べ替えさせる。生徒同士で相談をする時間を設け、情報を共有し合いながら内容の理解につなげさせる。</p>		テレビ 教師用タブレット

まとめる	7 本文の内容に関する質問の答えとなる箇所を探す。	○ 教科書の本文から質問の答えと思われる部分にアンダーラインを引かせることで、内容を把握できているか、自分で確かめられるようにする。	○ SKYMENU で絵や文を並べ替えながら、本文の内容を把握している。 【観察・SKYMENU】	
高める・広げる	8 まとめ ①ジョイフルワークブック P43 B1 ②タブレットドリル	○ 本時の内容を確認するためにワーク P43 の B1 問題に取り組ませる。 ○ 早く終わった生徒は、タブレットドリルに取り組ませる。		

## 1 単元（題材）体育理論「運動やスポーツの多様性」

## 2 本時の目標

運動やスポーツには、「する、見る、支える、知る」等の多様な関わり方があることについて話したり書き出したりすることができる。（知識及び技能）

## 3 学習指導過程（1／1）

段階	学習内容及び学習活動	指導上の留意点	評価の視点	資料・準備
つかむ・見通す	<p>1 いろいろなスポーツの関わり方があることを見つける。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>⑧ 走っている人の他にどんな人がいますか？</p> </div>	<p>○ スポーツの画像を掲示し発問の工夫を行うことで、「する」以外の関わり方があることに気づくことができるようにする。</p>		テレビ 教師用 タブレット
調べる ⇕ 確かめる・深める	<p>2 運動やスポーツには「する、見る、支える、知る」などの多様な関わり方があることを理解する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>運動やスポーツへの関わり方はどのようなものがあるだろうか。</p> </div> <p>3 具体的にどのような場面かを考える。 ○ SKYMENU を使って4つの関わり方について意見をまとめる。</p> <p>4 グループで意見を発表する。 ○ 4つの関わり方について自分の考えを班員に伝える。</p> <p>5 全体で意見を共有する。 ○ Teams の共同編集機能を用いて4つの関わり方について挙げていく。（1つ×1分ずつ）</p>	<p>○ 運動やスポーツには多様な関わり方があることを理解できるように、プレゼンを用いて説明する。</p> <p>○ 生徒自らが多様な関わり方に気付くことができるように、スポーツ場面のヒント写真を提示する。</p> <p>○ 肯定的な話合いができるように、班内で意見を交換し合い、他の人の意見も認めるように助言する。</p> <p>○ グループ以外の意見にも触れることができるように、Teams を使って共同作業を行う。</p> <p>○ さらに知識を深めるために、スポーツへの関わり方に関する、他者の様々な考え方をメモするよう指示する。</p> <p>○ グループでたくさんの意見を出すことができるように競争させる。</p>		ワークシート  生徒用 タブレット

まとめる	<p>6 体育大会でどのように関わることができるか考える。</p> <p>(1) SKYMENU 機能を用いて意見をまとめ、提出する。</p> <p>(2) 数名の生徒の意見を紹介する。</p>	<p>○ どのように運動やスポーツに関わっていきたいかを考えることができるように、体育大会を例に挙げ、ワークシートに記入させる。</p> <p>○ 「する、見る、支える、知る」に関する関わり方について考えを持っている生徒を意図的に紹介することで、様々な考え方を共有できるようにする。</p>	<p>○ 運動やスポーツには、「する、見る、支える、知る」等の多様な関わり方があることについて話したり書き出したしたりしている。</p> <p><b>【観察・ワークシート】</b></p>	
高める・広げる	<p>7 本時の学習を振り返る。</p> <p>○ 本時を振り返り、感想を記入する。</p>	<p>○ 運動やスポーツには「する」だけでなく、多様な関わり方があり、それぞれの楽しさを知ると運動やスポーツがより身近に感じられることを伝えることで、運動やスポーツへの今後の関わりについて意欲をもてるようにする。</p>		

## 第8学年1組 総合的な学習の時間学習指導案

指導者 鹿島 雄太

### 1 単元 よのなか挑戦

### 2 本時の目標

- 社会体験学習の発表に向けて、リハーサルを行い、再度発表資料を練り直すことで、友達の良いところを取り入れ、より良い発表ができるようにする。

(主体的に学習に取り組む態度)

### 3 学習指導過程 (15 / 22)

段階	学習内容及び学習活動	指導上の留意点	評価の視点	資料・準備
つかむ・見通す	1 リハーサルの目的や流し方を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 友達の発表の良い点を探すという視点を与えることで、目的をもって話を聞くことができるようにする。</li> <li>○ 発表の内容についても見習うべき点を探しながら聞くよう指示することで、パワーポイントを作成するスキルだけに着目しないようにする。</li> </ul>		
調べる⇕確かめる・深める	2 リハーサルを行う。 ○ タブレットでパワーポイントを見せながら発表する。  3 発表資料の見直しについて、自分なりの考えをまとめる。  4 各事業所に分かれ、発表資料の見直しについて意見を交流させ、方向性をまとめる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ リハーサルの目的を随時確認することで、自分たちの発表にも生かそうとする意欲をもてるようにする。</li> <li>○ グループでの意見交流につなげるよう指示することで、自分なりの考えをしっかりともてるようにする。</li> <li>○ 具体的に修正点をまとめるよう指示することで、共同編集に生かせるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 他のグループの発表の良いところを取り入れて、発表資料を見直している。</li> </ul> <p>【観察】</p>	ワークシート タブレット

まとめる	5 4で話し合った内容を生かして、T e a m s の共同編集機能を使って発表資料の手直しをする。	○ 必要があれば他のグループに再度聞きに行つてよいことを確認することで、多様な考え方を取り入れて、発表に生かせるようにする。		
高める・広げる	6 感想を記入する。	○ 本時の学びを振り返らせることで、本番の発表に向け、より良い発表をしようという意欲を高めることができるようにする。		ワークシート